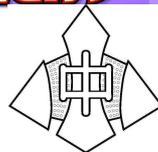


手をたずさえて

“小原田PRIDE”～自信と誇り

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和3年4月7日(水)発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

中学生としての今の“使える時間”を大切に!! 令和3年度のスタートです ～令和3年度入学式 校長式辞より～

84名の新入生の皆さん、小原田中学校への晴れの入学おめでとうございます。
きみたちを迎え入れることができたことは、本校にとってこの上ない喜びです。心から歓迎します。
しかしながら、新型コロナウイルスの感染がまだ収束を見ない中、不安もたくさんあることと思います。
『見えざる敵』との戦いは、しばらく続くこととなります。感染症対策には気を緩めることなく取り組むことはもちろんですが、仲間や先輩方、先生方と《同じ場》で、《同じ時》を過ごすことができる、この《小原田中学校での生活》を大事にしてほしいと願います。

さて、皆さんは、日野原重明先生を知っているでしょうか。
100歳を超えても現役の医師として活躍した人物です。
残念ながら、2017年に105歳でお亡くなりになりましたが、日野原先生は、本業の医師の仕事のかたわら、全国の小学校で10歳の子どもたちを対象に「いのちの大切さを語る授業」を続けてこられました。
その中で先生は必ず、子どもたちに「命とは何だと思えますか?」と聞きましました。きみたちは、「命とは何ですか?」と聞かれたら、どう答えますか?



日野原先生はこう言いました。
「いのちは、きみたちがもっている時間です。」と…。
血液を動かす心臓も、考えることのできる脳も大切です。でも命そのものは、それを自由に使える「時間」とであると言うのです。また、先生は、「寿命とは、生きている時間ではなくて、使える時間のことである。使える時間をどう使うかを考えることが“生きる”ことである。」とも言いました。
そして、必ずこう付け加えます。
「命である時間を自分のためだけでなく、人のためにも使ってください。」と…。
とても考えさせられる意味深い言葉です。

私たちはよく、過ぎ去った日々を振り返り、「ああ、あの時は良かった。」と懐かしみます。また、「ああもしたい。こうもしたい。」と未来の設計図を思い描きます。過去を振り返ることも、未来を夢見ることもそれぞれにとっても大切なことです。しかし、実際には、「いいじゃないか。明日があるさ。」と自分に言い訳をしながら、“今”という時をかなり雑に取りこぼしてはいないでしょうか。

今の積み重ねが、やがて未来になり、また振り返ったときのなつかしい過去になるならば、もっともっと“今”にひたむきでありたい。“今”にひたすらでありたいと思うのです。

昨日は過ぎてしまった。明日はまだ来ていない。とするなら、我々にとって唯一確かなものは“今”しかありません。この中学生としての“今”を、今、きみたちが中学生として「使える時間」を大切にしてほしいと思います。そして、今の「使える時間」を大切にするためには、何をすればよいのか、ということを実体的に考え、それらを行動に移してほしいと思います。

我々教職員は、大きな希望へと進むきみたちの手助けになりたいと考えています。困ったとき、悩んだときには、遠慮なく相談してください。これから、中学校という新たな時間を共に歩みましょう。



新入生呼名と入学式の全体の様子



歓迎のことば

◆ 今年度の入学式も在校生の出席がない規模縮小のものとなりました。ただ、昨年度と違うのは、生徒会長の伊藤吉太郎君が在校生代表として「歓迎のことば」を、新入生代表として三瓶暖佳さんが「歓迎の言葉」をそれぞれに述べました。ともに代表にふさわしい立派な発表でした。また、伊野PTA会長にもご臨席いただき祝辞をいただくことができました。呼名のときの大きな返事、しっかりと人の話を聴く姿勢など、新入生の素晴らしさが光った式でした。

“別れ”そして“出会い”

3月29日(月)には「離任式」が行われ、13名の先生方とのお別れがありました。お一人ずつ別れの言葉をいただきました。

退職・転出された先生方

- 芳賀勝栄教頭先生：大槻中
- 横山岳彦先生：退職（再任用 熱海中）
- 箭内直行先生：行健中
- 添田正幸先生：再任用 本宮二中
- 佐原淳子先生：退職
- 菊地美月先生：いわき市立湯本一中（6月から）
- 渡邊尚子さん（学校生活支援員）：郡山四中
- 小野彩子さん（SSS）：退職
- 佐々木秀人先生：退職
- 星野人美さん（注産）：退職
- 柳沼俊光先生：郡山二中
- 阿部香奈先生：行健中
- 濱津たか子さん（配膳員）：退職

誓いのことば



3月29日 離任式

13名の先生方には、小原田中の生徒をときには優しく、ときには厳しく教え導いていただいたことに深く感謝します。先生方との出会いと思い出を大切にしていきます。新天地でのご活躍・ご健勝を心より祈っています。

そして、4月には新たに5名の先生方をお迎えするとともに、2名の先生が育児休業より復帰し、新たな教職員組織での小原田中の教育活動がスタートしました。

転入された先生方

- 荒川直也教頭先生：葛尾村立葛尾小
- 加藤喜代子先生：喜久田中【音楽】
- 影山 暁先生：郡山七中【社会】
- 酒井宏美先生：須川市立西袋中【理科】
- 安部勇士さん〔主査〕：鏡石立鏡石中
- 安相 静さん：喜久田中〔特支補助員〕

復帰された先生方

- 栗原洋美先生【国語】
- 合津 恵先生〔養護教諭〕

新たな出会いは、また新たな希望を生み出します。転入・復帰された先生方との出会いを大切にしていきたいと考えます。生徒のみんなも、名前を早く覚え、先生方と接してほしいと思います。

4月1日 転入職員あいさつ

保護者の皆様へ / 保護者の皆様との信頼関係を築くために

4月6日の入学式では、84名の新入生を迎え、計298名の生徒及び32名の教職員で、令和3年度の学校生活が本格的にスタートしました。

生徒同士、生徒と教職員、教職員同士、更には学校と家庭、学校と地域、学校と関係機関等が、手をたずさえながら学校を運営していくことが何よりも大切だと考えております。特に保護者の皆様との信頼関係や連携なくして学校は機能いたしません。

そんな想いを具現化するとともに、ご家庭と学校の架け橋のひとつになればと考え、今年度も学校だより『手をたずさえて』を発行し、学校や生徒の様子や私の思いなどをお伝えできればと考えております。また、新型コロナウイルス感染症対策につきまして、本日保護者の皆様宛に通知を配付いたしました。学校における基本的な感染症対策をお知らせするとともに、家庭及び校外における感染症対策へのご協力をお願いする内容となっておりますので、よろしくご協力いたします。併せて、今年度の本校の教育活動へのご理解とご協力もお願いいたします。

